

EDELWEISS

FEBRUAR 2021



祝! チューリッヒ日本人会
・JCZ 創立60周年

この冬はよく雪が降ります。皆様お元気で恙無く新年をお迎えになったでしょうか。
今年の干支は、スイスの平和的で長閑な風景には欠かせない動物である丑（うし）。人の生活もその通り長閑に行くといいのですが…。

さて、2021年は、JCZがチューリッヒで活動を始めてから60年という記念の年に当たります。「ベルリンの壁が造られた1961年に、当時の欧州の不安定な情勢を鑑み、在留日本人の組織を作ったのがきっかけ」と、JCZのHPに発足の説明があります。それから60年、途中チューリッヒ婦人会と合併し、現在約350所帯以上の会員を有する会へと発展してまいりました。この間多くの駐在や留学の方達をお迎え・お見送りし、国際結婚でスイス在住となった日本人も増えてきた中で、微力ながら会員の快適なスイス生活を支え、スイス社会との交流を通して日本とスイスの架け橋となっていきたいというのが、JCZの一貫した姿勢です。

異国の地で同郷の言葉や文化に安堵するとはいつの世も同じです。今はインターネットで世界中と瞬時に繋がることができ、便利ではあります。が、2020年コロナ禍で、「生身の人との交流」がどれだけ必要でかけがえのないものであるかを、私たちは痛感したのではないか。JCZはこれからも「人」から生まれる安心感を、会員の皆様に提供していけたらと思っております。

再び厳しい対コロナの規制措置が敷かれ、祝い事に集えるような確実な収束が見込めないなか、会員の皆様と創立60周年の喜びを分かち合いたいと、ささやかな記念品を同封いたしました。年が明けて気持ちも切り替わり、少しでも前向きに、希望を持って2021年を過ごしていかれますように。(KC)



Sechseläutenplatz ~街の雪を愉しむ~

今年もどうぞよろしくお願いします。

P4とP5では、隔月交代で2人の執筆者がそれぞれのテーマで綴るコラムが始まります。今月は先ず、エッセイストの長坂道子さんです。そしてスイスアイススケートのジュニア代表、直樹 ロッシ君の紹介記事も。また別冊新春広告特集、ぺんてる様からサンプルのボールペン(P7参照)も同封しております。盛りだくさんで2021年、スタートです。今年もエーデルweisをお楽しみ下さい。



■ 卷頭文 青砥 玄 (会長)

「ガソリン車廃止?」『温暖化と自動車』を通して国家戦略を考える

■ 私のイチオシ、シェアします! Vol.11

インド逃避行 デューラー美和

■ 建築散歩

番外編後半: シチリア島 ロイバー ユカ

■ 新連載(隔月) 「ホイツアメ♪」— 言葉に寄り添う居場所探し 第1回「小ささ」への愛おしさ 長坂道子

■ Kette(会員の輪) Vol.145

ブランド 啓子さん (Zurich在住)



卷頭文：「ガソリン車廃止？」 “温暖化と自動車”を通して国家戦略を考える

青砥 玄（会長）

昨年の12月菅首相の「2030年代半ばに国内の新車販売を全てハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）などに切り替え、ガソリン車の販売を事实上禁止する」という政府声明は日本の自動車業界に大きな衝撃を与えました。この声明の直後に、日本自動車工業会会长の豊田章男氏（トヨタ社長）が極めて異例なネット会見を行い、「『電動化=EV化』という誤った認識によって“日本の自動車産業がギリギリのところに立たされている”と懸念を表明され、大いに注目を集めました。また豊田氏の単純試算では、現行の自動車をすべてEV移行した場合必要な電力量は10-15%程度増加し、それを賄うには原発10基分、火力発電所20基分の増加が必要であり、充電インフラにも膨大な資金が必要との事でした。エネルギー問題やインフラ等まで踏み込んだ包括的な議論に基づいた施策を提示しないなら、単に右にならえで電気自動車に移行するのかと言われても仕方がないではないでしょうか。二酸化炭素排出量削減を錦の御旗に、日本やヨーロッパ、そして中国が車のEV移行という同じ方向を向いたわけですが、ドイツのADAC（Allgemeiner Deutscher Automobil-Club）の試算ではガソリン車とEV車の出す二酸化炭素の包括的排出量は殆ど変わりません。電気を作り出すためには発電所や送電網その他において二酸化炭素が大量に発生します。そこも含めて考えていかないと単純にEV車=ゼロエミッションと思いがちです、それがあたかも既成事実かのように世論づくりがなされているのも否定できないと思います。

ご存知の方も多いかと思いますが、私自身が自動車産業界の一端を担っております。それ故に、この地球温暖化防止に直接結びつけたガソリン車廃止への動きに世界が大きく舵を切ろうとしていることに、そして今まさに日本もその潮流に乗る宣言をしたことに、大きな不安を覚えます。それは一般に報道されている事実と、ごく一部の専門家しかわかっていない事実のギャップがあまりにも大きく、我々一般市民が考える判断材料を平等に与えられないという危惧にも起因しています。正しい判断をするためには、多くの情報源を持たなければなりません。ここで私は少々政治的な話をして皆様を一つの方向に扇動する気などはありませんが、日本が世界に誇る自動車産業の、ひいては日本の未来の話なのです。そこで、温暖化と自動車について、オンライン番組「ニューソク通信社」において科学者の武田邦彦氏が語っておられる一般にあまり知られていない内容を引き合いに、皆様と考えてみたいと思います（＊以下鉤括弧内は番組内での武田氏の発言です）。

まず武田氏は、温暖化は科学の問題ではなく、政治の問題で語られているとおっしゃいます。どういうことかとういうと、温暖化対策の元々は1988年6月23日アメリカの上院で取り上げられた問題で、1980年代の小麦価格の低落と、それに苦しんだ農業系の議員、国際金融資本と一部マスコミが共同して政府の補助金を工業から農業へ回す動きが始まったと。次にこれを見た英國、ドイツといった欧州勢が、実際に北海油田の将来的枯渇で代替エネルギーとし

て原子力を推進したいところが、原発は風当たりが強いために温暖化ガス規制という新たな価値観でエネルギー対策を進めていくという思想で同調。1995年にベルリン・マンデートという決議で、先進国の2000年以降の気候変動対策を定めました。武田氏は、この決議は2年後に予定されていた京都議定書を見据え、温暖化ガスの規制に対して欧州が損をしないようにできていると。「当時世界は、共産主義から自由主義国家に変わることにより、産業の効率化が大きく進み、温暖化ガスの排出量が大きく減少している時期でした。1997年の京都会議ではほとんどが自由主義諸国になっているので、国際的な規制については1990年を基準にしようと共同で強く主張し、それが決まります。」

「少々複雑なトリックですが、日本人に見破る力がないと国際的には太刀打ちできません。勿論温暖化ガスを排出した方が経済は進みますから、（欧州は）見かけ上の操作をやろうと決めたのです。それに対して、アメリカは1997年にバードヘーゲル決議を致しました。これは温暖化の決議が京都で決まった場合『中国とインドが署名しなければ、アメリカは批准しない』と上院の委員会の全員一致で決定します。欧州は共産主義の崩壊で、（温暖化ガス排出規制で）30%くらい儲けている（得をしている）とは知らずに日本は欧州に追従しました。その結果どうなったか。1990年から2020年までの30年間、日本の経済は大いに停滞し、その代わりアメリカと中国が伸びて大きな差が出来ました。」

なるほど、日本ではデフレ不況が続き、経済は落ち込み所得は減り、経済格差が広がるという大変な時代となり、日本のGDPが中国に抜かれ世界3位となりました。もしも当時、日本のマスコミが正しく報道し、政府が正しく舵をきっていれば、日本人の所得も上がり、GDPも伸びていたかもしれません。この温暖化対策のおこりについての話は私も認識が無く大いに驚きました。国際機関で働く日本の外交官に確認したところその通りであるとのこと。国際機関ではそれぞれ各国の国益がぶつかりあう場所だそうで、ある意味お人良しで、ナイーブな日本人には、なかなか厳しい世界なのだそうです。アメリカにしろ、イギリス、ドイツなども極めて“したたかに”自国の利益を守る為、戦略的に戦っている様子がよく分かる話です。日本人は自己主張をすることは大人げないとか、醜いと判断されあまり良いことは認識されていませんが、国際舞台に出れば周りがまさにそういう国々ばかりであることを知り、やり合えるだけの訓練が必要だと思います。また、日本は場当たり的な対応に追われるのではなく、国家としての地政学的な長期戦略を持つ事が大いに求められていると強く思います。

日本が欧州の温暖化ガス規制政策にのまれ、一生懸命やってきた結果、どうなったのか。「この30年で日本は電気・電子産業が思いのほか崩壊しました。自動車産業だけがこの30年間頑張って日本の地位を保ってきました。私は工学部で学生を教えていた立場から言えば、日本

の技術者に最も適しているのが自動車とか、鉄鋼産業なんですね。ですからそこで今後も世界的な地位を保たなければ我々の子供達は本当に貧弱な国で働くことになると思います」

「もう一つは、中国の作戦を見破らなくてはいけません。中国が電気自動車をやるのは何故かというと、トヨタ自動車に勝てないからなんです。だから原発をたくさん作ってその電気で電気自動車を走らせるといっているのです。原発はCO2は出さないということになっているので、中国は国際的な温暖化の批判を避ける為に原子力発電をやり、その電気で自動車を走らせると。中国の原発と電気自動車の組み合わせは、実はトヨタが造るガソリン自動車の出す温暖化ガスの量とは実質上変わらないんです。我々日本人は極めて優れた自動車産業を持っているながら、中国を利用する為に日本の自動車産業に打撃を与えるという方向に舵を切るという愚かな政策には、私は全く反対ありますしやつてはいけないことなのです。私が繰り返し言いたいことは『私達日本の大人の行動の目的は、何よりも日本の未来の子供達の為に』ということです。」

このように話はそんなに単純ではなく、地球温暖化と自動車の関わりは単なるEV=ゼロエミッションの観点のみから論議するには無理があるのです。表面的には穏やかに握手をかわしながら実際のところ各国とも極端に言えば自国の生き残りをかけてあらゆる手段を駆使した戦いが展開されているといつても過言ではありません。そんな中でまさに21世紀は超限戦の時代であるとの指摘も見受けられます。「超限戦」という言葉はあまり聞きなれないかも知れませんが、1999年に中国人民解放軍の将校が執筆した戦略論で2001年の同時多発テロを予言した書として有名になりました。通常戦（武力戦争）のみならず、外交戦、国家テロ戦、諜報戦、金融戦、サイバー戦、法律戦、心理戦、メディア戦など非軍事のあらゆる方法を駆使して戦う戦略論で欧州ではハイブリッド戦争といわれ、世界各地で実際に利用されています。日本の私たちは、基本的に人を信じると言う性善説的発想で物事を見つめがちで（それはもちろん素晴らしいことです）が、残念ながら現実の世界は必ずしも性善説に基づいて回っているのではない事も念頭に置く必要があります。そんな状況の中で日本は如何にして生き延びるか、とりわけ如何にエネルギー安全保障を担保しつつ、国際競争力を保持するかをより深く考察し戦略を練る事が大切でしょう。本質的には武田氏が言われるように、私達の行動の目的は、現在の私達の為ではなく、未来の子供達の為にするという、「国家100年の計」といったものでなくてはならないはずです。そういうたった幸福で、繁栄した国を子孫に如何に残してゆく事が出来るかを考えつつ国家も個人も方針を作成しなくてはいけないと思うのです。

《引用元》

ニューソク通信社【武田邦彦の新聞ウォッチ】

2020年12月13日配信

<https://youtu.be/LaQDeAj8BjU>

ご意見ご質問は青砥まで gen.Aoto@toyota.ch

中国武漢の市場から始まったとされた新型コロナウイルスが、中国企業を多数迎え入れていたイタリア北部で猛威を奮っているとの報道が耳に入り始めた頃、私達のインド旅行がムンバイからスタートしました。20年前、デリーやヴァラナシ、ジャイプル、アグラなどの「これぞインド！」的な観光地を訪れていました。あの雑踏と牛とヒンズー教とカレーの盛り合わせカオスのような独特で魅力的な文化。今回はインド南部を見て回り、最後はゴア近辺に長く伸びる美しい海岸での2週間のビーチホリディ、予定ではそうでした。



ムンバイは港湾都市としてインドの経済発展に大きく寄与し続けている大都会です。時差調整を兼ねて4泊滞在しながら市内観光。イギリスの植民地時代の建物がたくさん残っていて、多くが世界遺産に登録されています。さて到着3日目の夜、スイス航空から帰りの飛行機がキャンセルになったので日程を変更してほしいとの連絡が入り、一日延長。その翌日再び日程変更連絡があり、さらに一日延長。なんか変だぞ、という始まりでした。

5日目には予定通りムンバイから飛行機でアワランガーバードへ。1時間半も飛んだのに、地図を見たら「これだけの距離？」と思うほどインドは大きい国。そこにはアジャンターとエローラという二つの見逃せない巨大な石窟寺院の遺跡があります。その時代の石窟造りにかけた人々の信仰の



情熱を感じます。その夜、2度変更した便もキャンセルになったとのメールが届き、もはやこの便を利用してくださいとの案内ではなく、キャンセル通知だけ。まあ、明日ムンバイに戻ったら予約し直そうと、まだこの時点ではゆとり状態。ところがムンバイに戻ったその日、感染者ゼロを誇っていたインド政府が、コロナを水際で阻止するために外国からの入国は〇日から当分認めないと決定。これはうかうかしていると国際線の飛行機が飛ばなくなってしまう、インドに取り残される、すぐに帰るしか選択肢はないだろう、そう判断しました。



そこでマスカットに一泊すれば翌日のチューリッヒ行には絶対に乗れるのかを確認して、マスカット空港内のホテルを至急予約。こんな時ネットは本当に便利です。午後便まで時間がありすぎたのでムンバイ空港内のホテルのディユースを利用して時間まで手足を伸ばしてました。マスカット空港到着。ホテルにチェックイン、翌日の出発時間まで「まさかこの便までキャンセルには…ならないよね、いや、分からんぞ」と祈るような気持ちで過ごしたことは、めったにできないドキドキ感覚として今でも覚えています。飛行機は各地からスイスに帰る旅行者で1席も空席のない状態でしたが、無事チューリッヒ空港に到着。みんな同様な体験をしたらしく、チューリッヒ空港にランディングした時には機内では一斉に拍手が起きました。結果的にムンバイからチューリッヒまで40時間をかけて帰ってきました。

PICK UP! 11 STADT, BERG ODER INSEL? 私のイチオシ、シェアします!

インドからの逃避行 デューラー 美和

しかしスイス航空ムンバイオフィスの電話はいつも話し中、メールの返事も異常に遅い。いつ席が取れるか、いつまで運行するのか、直前キャンセルもありうるのか、何もわからない状態です。よし！こうなればスイス航空には頼れない！というわけでホテルで一日中サーチしまくり、初利用のオマーン航空のマスカット乗換の翌々日の席を二つ獲得。オマーン？その国どこにあるの？という私でした。休暇の切り上げはとても残念だけれど、何とかスイスに帰れそう。今は帰ることだけを考えよう、と。

「さらば、インドよ、またいつか」という気分で、すっかりなじんだホテルをチェックアウトして翌朝空港へ。するとオマーン航空カウンターでは、ムンバイ→マスカット(オマーン)の午前便はキャンセルです、と。「は？」…午後にも一便ありますが、その日のマスカット発チューリッヒ行には間に合いません、と言われ、脱力感満載。



後日談：ゴア近くの2週間滞在予定だったビーチホテルは6か月後、全額を返金してくれました。スイス航空からはムンバイ→チューリッヒ、ビジネスクラスの復路キャンセル代2人分は返金（ただし雀の涙程度）をいざれするというお知らせがありました。10か月後の現在、まだ受け取ってはいません。コロナによる経営の困難さが垣間見えます。

行きたい場所へ
逢いたい人へ
青い翼でつなぐ

2021年もANAを
どうぞよろしくお願い申し上げます。

www.ana.co.jp/ja/ch
ANAジュネーブ営業支店 TEL:022-909-1050
E-mail:gva@ana.co.jp



ANA
Inspiration of JAPAN

【大使館からのお知らせ】

領事窓口受付時間の変更及び予約制

大使館の受付時間が2020年10月から変更になっています。9時30分～11時、14時～16時まで。

尚、ただいま予約制になっておりますので、ご来館の前に必ず予約をお取りください。

TEL:031 300 22 22

現在、領事出張サービスは、スイス連邦政府の感染予防措置を踏まえ、次の予定が組まれておりません。

大使館関連の情報はJCZのHPをご覧いただき、各自該当する方法で大使館にご連絡ください。www.japanswiss.ch

大使館HPは
在スイス日本大使館
で検索！



第1回「小ささ」への愛おしさ

ドイツ語圏スイスに移住して幾星霜。なのにスイストイツ語がわからない。そのことがずっと不便で重荷で、その上、寂しかった。そこの水を飲み、そこの空気を吸う土地で、周りの人の言っていることがわからない。それは言葉による表現一般を愛する自分にとっては拷問のような環境だ。とはいっても日々の暮らしの中で自然に覚えていくためには年齢が行き過ぎていたし、そもそもその日々の暮らしにスイストイツ語と触れる機会がほぼ皆無なまま何年も過ぎてしまった。

これは腹をくくって勉強するしかない。その決意にたどり着くまでに10年以上。「失われた時」の長さは後悔してもしきれないが、それでも始めるよりはやはり始めてみてよ

「ホイツアメ♪」—言葉に寄り添う居場所探し

長坂 道子（エッセイスト@スイストイツ語勉強中）

かった、と思っている。生徒は私とハンガリ一人女性二人。最初は対面で、昨春以来はずっとオンラインで。始めてからちょうど一年くらいになるのだが、レッスン歴が半年を過ぎた頃からだろうか、トラムの、ラジオの、店の中の「それまでただの音だったもの（のごく一部）」が、突然、「意味を持つ音の連なり」として聞こえ始めた。そのこと自体、大きな喜びだったけれど、さらに大きな喜びは、スイストイツ語そのものの親近感が自分の中に芽生えてきたことだった。

ドイツ語でBrötchenというところをスイストイツ語だとBröti。MädchenはMäitli、ein bisschenはes bitzli。文法用語でいうDiminutiv（縮小詞）は英語やフランス語にもあるけれど、ドイツ語はこれがより頻繁、スイストイツ語となるとさらに多い…という印象がなんとなくかねてよりあった。だからある日、先生に訊いてみた、スイストイツ語ってハイジャーマンに比べてDiminutiv、多いですよね、と。

「そんなことはない」

ハンガリ一人のクラスメートが口を揃え、「でもスイストイツ語はやはり“～り”っていう言葉、多くないですか？」と私に同調。「そんなことはない。ドイツ語のchenの数だけスイストイツ語のliがある。それ以上でも以下でもない」

今ひとつ納得しかねる顔を見合わせる3人を置き去りにして、授業は先へと進んでいく。

先生の説はたぶん正しいのだろう。にもかかわらず、私たち3人の外国人が「スイスト

イツ語に“-li”が多い」という印象を抱くのだとしたら、それはきっとその“-li”に込められた思いや愛着の深さを感じ取るせいじゃないのか。

壮大、壯麗、偉大なものへの憧れと同時に、人間には小さく可愛らしいものへの愛おしさの感情が備わっている。周囲を山に囲まれ、平地の少ないスイス、ルイ14世みたいな絶対君主もヴェルサイユ宮殿みたいな豪華な建築も持ったことのないスイス、ユングの箱庭療法を生んだスイスはきっと、後者への親近感が前者へのそれをはるかに上回っているのだ。“-li”という音に、自らを重ね、“-li”の中に小さくて控えめでおどおどした存在への愛を見ているのだ。

なんのデータもない単なる印象に過ぎないけれど、少なくともそのような印象をなんとなく好ましいもの、それもまたいいじゃないの、と思えるようになった自分がいる。

「～ちゃん」「～っこ」、あるいは「～小」腹が空いたなどと私たちがいう時のあの感じ。それをこの国の言葉に対して抱き始めたことで、ほんの少しだけ、ドイツ語圏スイスの居心地がよくなってきた気がしている。

「意味の伝達」を主眼としたA1翻訳からこぼれ落ちる身体感覚にも近い何か。そんな言語の隙間のところにこそ、居心地や愛着を育てる養分が詰まっているということを思う。

※ ホイツアメ/Hoi, zamme(Hallo, zusammen)は「みなさん、こんにちは」という意味のスイストイツ語表現

Stiftung St. Jakob

ザンクト・ヤコブ財団

チューリッヒにあるこの財団は身体的障害・知的障害のある人たちを積極的に雇い、彼らが一般社会へ無理なく参加して自立した生活を送るための手助けをしています。もと幼稚園の先生だったマリー・ビュルクリ (Marie Bürgli) が、盲目的女性の社会的自立の援助をするために、両親の自宅で仕事を提供はじめたのがそもそもの始まりです。

その後、女性だけでなく男性の仕事場としてSt.Jakobstrasseにワーキングショップを開き、目だけでなく他に障害のある人たちも受け入れるようになり、現在では電気事業、デジタル事業、管理事業、そしてガストロ部門など、多岐にわたる職種を提供しています。余談ですが、Marieの父はArnoldといって、チューリッヒで特にチューリッヒ湖と運河の排水システムなどを手がけた著名な都市建築エンジニアでした。ビュルクリ・プラッツは彼の名にちなんで名づけられています。

さて、この財団、現在はヘッドクオーターをViadukt沿いの建物に移して、プラタナスの木陰のテラスのあるカフェを併設しています。そして、この度のJCZの創立60周年記念のチョコレートは、今年のコロナ禍で恒例のチャリティー新年会を開催することができない中、それでも何か小さな一端でも社会貢献に関わりたいという気持ちを持って、数あるチューリッヒのショコラティエの中から、ここ製菓部門であるSt.Jakob Beck & Kafilにお願いしました。ブラックチョコレートを土台に華やかなトッピングは、パイナップル、ココナツ、ピスタチオ、クコの実などをたっぷり使ったものと、シナモンがほんのり香るスイスの冬をイメージしたものの組み合わせ。どうぞお楽しみ下さい。（KC）

安全運転のために...

スイスの道路交通法で2021年から施行されるいくつかの変更があります。その中で覚えておいた方がいいものをいくつかピックアップしたので、目を通しておくといいと思います。



1 高速道路の渋滞で交通が滞っている場合、緊急車両のために、隣のレーンとの間隔を確保しなければいけません。2車線の場合、右と左のレーンの間にスペースを作ります。3車線の場合は一番左側(中央寄り)のレーンと真ん中のレーンとの間隔を保つようにします。

2 高速道路の事故等で渋滞時は右車線での追い越し可能になります。とはいっても、これは左側の高速走行車線が詰まっている時、右側車線の車が渋滞車線より速く走っていいというだけで、今までそのように自然になっていたと思いますが、改めて明文化されたということですね、右からの追い越しのための車線変更は指していません(*車線変更是禁止です)。通常の走行時に、左側車線の車より速く走ることは禁止されています。

3 自転車とMofaと呼ばれる原付は、安全が確認されれば赤信号でも右折可になりました(ただし、それを許可する黄色の自転車表示がある場所のみ)。歩行者に十分に注意が必要です。

4 1964年以来禁止だったガソリンスタンドでのアルコールの販売が可能となっています。

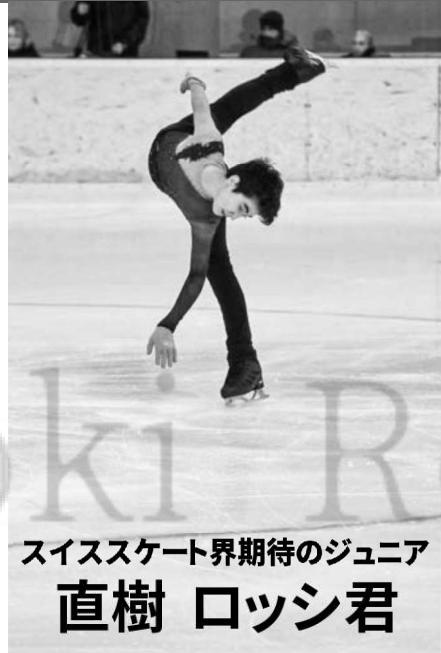
Bundesamt für Straßen ASTRA,
Neue Verkehrsregeln ab 1. Januar 2021より (KC)



日本ではアイススケートはとても人気のあるスポーツですね。特に今羽生結弦というスーパースターを筆頭に、世界の舞台で活躍するレベルの選手が男女とも数人いて、とても活気があります。スイスもワインタースポーツはもちろん得意。トリノオリンピックの銀メダリストであるステファン・ランビエールは氷上のプリンスと呼ばれ、日本でも非常にファンが多いスイスのプロスケーターで、宇野昌磨、紀平梨花などをもトレーニングしているコーチもあります。そんなステファンのもとでトレーニングを積むのは、Zumikon/ZHの直樹・ロッシ君。ノービス部門ではスイス国内選手権大会で4連続優勝という快挙で、不動のNo.1の座を獲得。13歳になった今、ジュニア部門で滑り始めたばかりで、すでにスイスのジュニア代表なのだそう。

4歳で近所のスケートリンクの氷上に初めて立って以来、もう好きで好きでたまらないスケート。昨年秋から彼は親元を離れ、イタリア南チロルのBolzano近くにある、世界中から優秀な若きスケーターが集まる学校で学んでいます。毎日朝の6時半から3時まで練習とトレーニング、でも普通のお勉強もしなければならず、そちらの学校はその後6時半まで。食事も自分たちで作っているそうで、ハードスケジュールです。ステファン・ランビエールは、現在スイスのChampéryでスケート学校を持って教えていますが、直樹くんは離れていても彼のサポートを受けているそうです。

幸い今まで大きな怪我はないものの、小さい問題はしおちゅう。でもどこも痛くないスケーターはいないので、こういうことを克服しながら自分に勝っていくしかない…と頷きながら早口の日本語で、きちんと答えてくれます。



スイススケート界期待のジュニア 直樹 ロッシ君

怖くないの？

「新しいジャンプは怖い、怪我したらどうしようとかは思うけど、いっぺんにやろうとしないで少しづつ積み重ねていくしかないから。怪我をしないためにはウォームアップはとても大事だと思ってる。人生は1秒2秒の出来事で台無しになってしまうこともある、そんなことが起こりうる怖いスポーツをしていると思っています」

スケートの何が好き？

「ジャンプ。特に着地が決まった時が、もうすっごくいいです！」

ユースオリンピックというのが4年に一度あり、昨年はローザンヌで開催されました。直樹くんはユース規定の14歳に達していなかったので競技には出られなかったの

ですが、オープニングセレモニーに抜擢され、ステファンと滑っている映像がYouTubeで見られます。

「Naoki Rossi (12) Opening ceremony of the Youth Olympic Games 2020, with Stephane Lambiel」と入れると出てくる5分の映像です。

今ジュニアのレベルは、4回転が1つ跳べればいいとされていた10年前と比べると相当に高く、4回転1種類は当たり前という厳しい時代。そういう環境で直樹くんをはじめ若いスケーターたちは、いつかはオリンピックの代表に、と自己研鑽の毎日です。全く13歳にしてなんというしっかりした受け答えをするのかと驚かされましたが、厳しい世界で学んでいるからこそです。

オリンピックは15歳以上という規定があるので、来年の北京での冬季オリンピックにはどう足搔いても出られないのが残念かと思いきや、「今学校でもっともっと色々なジャンプやステップを学んで、（今振付師として引っ張りだこの）ブノワ・リショー（元アイスダンスのフランス人選手）と、2026年のミラノ冬季オリンピックに向けて実力、モチベーションを整えていくのが理想。そのためには次のユースオリンピック（2024）でいい成績を収めて自信をつけることが大事」だそです。楽しみですね、皆さん是非応援してあげてください。（KC）



ホームページ：<https://naokirossi.com>
(*まもなく開設予定)

室内でグリーンを

Zimmerpflanzen

バナナは夏場は外で十分に陽に当ててあげますが、冬場はスイスの温かい家中でなるべく日当たりのいいところに置き、湿度を50%ぐらいに保てばどんどん育ちます。冬の間は肥料は必要ありません（と読みましたが、こんなに成長するなら冬眠期とは呼べないだろうと、私はこっそり液体肥料を少しあげています）が、お水は表面の土が乾いていたらあげる、葉はたまに湿った布で拭いてあげる、黄色くなった葉は付け根から切り取る、そんなところでどうでしょうか。他の観葉植物と比べて多少手がかかりますが、目に見えて成長するのが嬉しい、ハマります（笑）。Zwergbanane, Zimmerbananeという大きく育っても2-3mまでという比較的小さい品種が室内用としては扱いやすいです。よく育つと言ってもそんなに簡単に2mにはならないのでご安心を。バナナの実は運と努力次第！？



植物のススメ

コロナという厄介な感染症に対して身構えなければならず、随分と精神的に緊張と負担を強いられることとなっていました。

こんな時には身近に置く植物が「癒し」を与えてくれるということがわかっています。というわけで、今回は観葉植物のススメです。植物は室内の有害物質を除去したり分解するという自然の空気清浄効果があったり、ストレスの緩和、マイナスイオン濃度の上昇による森林浴効果、そして緑という色が視覚疲労の軽減にもなっています。花や香りのあるものだと脳のアルファ波の分泌が多くなることで、血圧が下がり、筋肉が解れ、リラックス効果などなど。人は植物のお世話をしながら、同時に植物にお世話になっているのです。

ドイツ語で観葉植物はZimmer-pflanzen（室内植物）といいます。いろいろ種類がある中で、私が個人的に気に入っているのがまずAnthurium（フラミンゴブルーム）。色は赤、ピンク、紫などがありとても綺麗です。比較的日陰で大丈夫なので、暖房の乾燥に気をつければ冬のお部屋にはもってこい。Alocasia（アロカシア）は、特徴のある葉を持ち種類もいろいろです。比較的明るい部屋に置くならダイナミックなこの植物はおすすめです。

そしてバナナ。厳密には観葉植物ではありません。自然では背が高いので「バナナの木（ドイツ語でもBananenbaum）」と言われることもありますが、実は地球最大級の多年草なのです。



アグリジェントの旧市街にあったB&Bの部屋で朝早く目覚めて、窓のカーテンを開けてみると、幾つも重なる赤茶色の瓦屋根の先に、ギリシア神殿の遺跡が、緑のまばらな谷にポツンと見え、その向こうに真っ青な海が広がっていた。ほかの宿泊客と母屋の広い台所で朝食をすましてから、車で次の目的地のRagusaを目指す。ここからは、今回のシチリア旅行のハイライトとなるユネスコ世界遺産に指定されているバロック都市で有名なラグーサ、モディカ、ノートそしてシラクーサを訪ねる予定。

海沿いの道をGelaという街まで走り、そこから山側に入って2時間ほど車で走っただろうか。山間を縫って走る国道から、突然緑の丘の上に要塞の様に形成されたRagusaの街が目前に広がる。イタリアの街は、いつもこういう風に旅人を驚かせるのが上手い。地形を利用して都市計画をする手法も、この街がバロックの時代に再建されたことを頷かせる。谷間に下にある駐車場に車を止め、Ragusaの旧市街に徒歩で向かう。中世の城壁の中には迷路のような細い路地があり、街の中心に向かって坂道を登る。一番高く、街の中心となるサンジョルジオ大聖堂⁽¹⁾のある広場からほど近いレストランで遅い昼食をとる。天候に恵まれて、ほかのパカソス客に混じって、すっかりご機嫌になった私とスペイン人の友達は、昼食後に大通りの角にあったカフェでシチリア風のかき氷も食べ歩き。通りの終わりにあったイブレオ庭園⁽²⁾で南国風の大きな椰子の並木道を歩いて、城跡の堀からは街周辺の緑の田園風景の眺望を堪能した。



午後遅く、Ragusaを出発して山間の道を宿泊先のModicaに車で向かう。予約したB&Bは、普通の住居上階をフラットに増築した3階建の住宅で、狭い階段室を通って案内された最上階の部屋には、旧市街が一望できる素敵なもの張りの広いテラスも付いていた。この街の目抜き通りであるCorso di Giorgioに面して数々の素晴らしいバロック様式の建築があるのが見えた。その中でもひときわ目立つサン・ピエトロ教会⁽³⁾の大階段を前にそびえ立つ堂々としたファサードは特に圧巻で、夜の間にライトアップされた姿は、まるで舞台のセットの中に入り込んでしまったような錯覚に陥った。次の朝、寝室外の素敵なテラスで朝食をとり、もう一泊ここでしたいよね、とか友人と言いながら、再びレンタカーに飛び乗って次の目的地Notoを目指した。

文献によると1693年1月11日に（偶然にも、この原稿の執筆は328年目の正にその日である）、シチリアの南東部カターニア郊を襲った大地震は、イタリアの歴史上最大マグニチュードを記録して、約6万人の人々の命を奪い、少なくとも45の村や街が打撃を受けたという。今回訪ねた美しいバロック都市の数々は、この大地震で壊滅した街が、当時スペインのアラゴン王朝の支配下で再建されたものである。特にNotoの街は、元の街は壊滅状態で、当時の人々は10キロ南側で海辺に近い平坦で頑丈な地盤を選んで再建したとある。陽の光を浴びて、ノート大聖堂前⁽⁴⁾の大階段前に一列にいくつものバロック建築のファサードが高台に聳える姿は、どこから見ても素晴らしい、この街がユネスコの世界遺産になっていることにも頷ける。淡い蜂蜜色した砂岩のファサードは、バロック様式の列柱の配列や、窓や入り口の配置によるその幾何学的な美しさもさながら、どこか簡素化された装飾と彫刻がオリエンタルな雰囲気を醸し出していて、シチリアのバロック建築がローマのバロック建築の影響を受けながらも、この地で独自の発展をしたことがわかる。



Notoでの感動も束の間、午後遅く最終目的地であるSiracusaの街を目指す。英語読みではシラキュースとロマンチックな響きを持つこの街、旧市街は海に突き出したオルティージア島にある。レンタカーを島の袂のパーキングに停めて、これまでの小都市とは違う多くの人々で賑わう旧市街を歩いてみる。シラクーサ大聖堂⁽⁵⁾のある広場(Piazza del Duomo)の演劇的な美しさには思わず感動しそうで、夕食を食べるのも忘れてスケッチしてしまったほど。翌日はホテルから近い海岸沿いをCastello Maniace(マニアーチェ城砦)まで歩いて、エメラルドグリーンの海を堪能し、その後街を北に向かって歩いてギリシア時代のアポロ神殿の遺跡を見て、新鮮な野菜や果物、海の幸で溢れるMercato(青空市場)をそぞろ歩いた。海辺の街の爽やかさ、街のにぎわいと美しい建築の数々に魅了されて、この街は是非とももう一度訪ねたいと思わせた。この街で食べた美味しい夕食や昼食の数々もシチリア島の虜になってしまった理由だろう。

© 2013 Yuka Räuber

- (1) Duomo San Giorgioは、ノートの都市計画再建に活躍した建築Rosario Gallardiの作品
- (2) Giardino Ibleoの公園内にはオリエンタルな屋根を持つ教会もあった。
- (3) Chiesa di San Pietroはモディカの中心となる目抜き通りにある。
- (4) Cattedrale di Noto。この大聖堂のファサードも建築家Rosario Gallardiの作品
- (5) Chiesa Cattedrale Natività di Maria Santissima。この大聖堂は元々ギリシア神殿建築だったのを7世紀にカトリックの教会へと改造され、1693年の大地震後、建築家のAndrea Palmaによりバロック様式のファサードに再建された。





年会費お支払いのお願い

2021年度の会費は2月末日までにJCZの以下の口座に、オンラインまたは同封の振り込み用紙にてお支払いいただけますようお願い申し上げます。

個人会員：50フラン
家族会員：80フラン

Zurich Nipponjin Kai 8008 Zürich
Postkonto : 80-9732-0
IBAN : CH19 0900 0000 8000 9732 0

振り込みの際の注意事項

- 振り込み主がJCZに登録されている会員ではない方(例えは奥様が個人会員で、会員でないご主人様がご主人様の口座から振り込むなどの場合)、**Mitteilung**の欄に必ず会員名(*この場合、奥様)をご記入ください。
- 郵便局の窓口でお支払いになる場合、振り込んだ金額から手数料を引いた方がJCZに振り込まれます。つまり会費として50フランの全額はJCZに振り込まれないことになります。つきましては皆様には可能な限りオンラインバンキングでのお支払いをお願いいたします。

2月JCZ企画

Pfannenstiel 散策

現在会員向けに企画を作ることは非常に難しい状況で、今月はお休みをさせていただきました。ただ、コロナ対策措置も強化されているこの時期に他人とのコンタクトも制限される中、家に引きこもりがちになるのはよくないですよね。そこで冬景色の森のお散歩に、もし1人ではなく誰かと一緒にならぜひ外の空気を吸いに少し歩きたいという方がいらっしゃったら、一緒しましょう。JCZスタッフから2人参加なので、3名まで申し込みでいただけます。静かに、でも一緒にお散歩です。

チューリッヒのStadelhofenからS18 Forchbahnに乗って約20分。たったこれだけ離れただけでもPfannenstielの辺りは標高が300m近く高くなるので、綺麗な雪景色が楽しめます。Forchからの道はなだらかで森の中を抜けて一時間半ほどで展望

Zoomでママカフェ
『我が家のおうち遊び!』

今回のアフタヌーンカフェは、小さなお子さんをお持ちの方たちを対象に開催します。コロナ感染防止対策も強化され、寒い季節でもあり、なかなか外出もままならない状況の中、幼稚園ぐらいまでの赤ちゃんのいらっしゃる方たちで、楽しいおうち遊びを紹介していただけたらと考えました。参加者同士で普段気になっていることなど話してみませんか。ママカフェ中にパソコンの前にじっと座っている必要はありません。出入りはどうぞご自由に。

日時：2月4日(木) 10:00から1時間ほど
申込：JCZのホームページ
またはkikaku@japanswiss.ch
※2月3日(水)までにご連絡ください。
※Zoomでの表示名を必ずお書き添えください。

総会承認事項

2021年度はコロナ規制のために総会を開くことができません。そこで、2020年度の活動報告・会計報告と2021年度の規約改正・役員選任等の承認事項をまとめた書類を会報とともに同封させていただきましたので、ご覧ください。異議、質問などのある方は、書類に記載されている期日までに、所定のところに連絡ください。特にお申し出のない方に関しては、承認ということで受けさせていただきます。

ぺんてる様からの試供品

今回会報と一緒に同封いたしましたキレイな水色のペンは、ぺんてる様からの試供品です。銀イオン分子を樹脂に配合した抗菌ボールペンで24時間以内にバクテリアを除去します(抗ウイルスではありません)。表面を清潔に保ち、インク交換ができるサステイナブルなペンで、ご家庭で、職場で安心して使えそうです。

ボランティアスタッフ募集中

JCZ ジャパンクラブ・チューリッヒまで、どうぞお気軽に問い合わせください。
編集：edelweiss@japanswiss.ch
企画・その他：jcj@japanswiss.ch

チューリッヒ近郊イベント情報

【現在のイベント情報】

ロックダウンが2月末までとなり、残念なことに多くのイベントが継続してキャンセルとなっています。

そこで利用してみたいのがストリーミング。PC/携帯 - テレビとの間でスクリーン・ミラーリングという技(笑…ワンクリックです)を使って簡単に大画面に写し出すことができると、オペラやコンサートの(ライブ)ストリーミングを質の高い画面で楽しめます。PCのスクリーンを覗き込んでいるのとは全く違う楽しさです。更に良い点は、期間内ならいつでも観られる、地域に捉われずに観られる、というところです。例えばロンドンのロイヤルオペラハウス…



ロイヤルオペラハウス@コヴェントガーデン

OPERA

「Andrea Chénier」フランス革命を題材にしたジョルダーノのオペラです。ライヴストリーミングのおかげで2月7日まで3フランで見られます!
ヨーナス・カウフマンですよ~。

BALLET

「Marguerite and Armand」はルドルフ・ヌレエフとマルゴ・フォンテインのために作られた1963年初演の1幕もの。リストのピアソナタに乗せて、悲しくもロマンチックな愛の物語。2017年公演。2月14日までライヴストリーミングで3フランです。
ロイヤルオペラハウス
www.roh.org.uk

Wigmore Hall

ロンドンの由緒正しき小ホールで、よりすぐりの室内楽を提供しています。過去のコンサートのアーカイブがライヴストリーミングで観られます。基本無料ですが、是非寄付を!
wigmore-hall.org.uk

Zürich Opera House

単発でオペラの無料公開をしていますのでHPをチェック。
チューリッヒ歌劇場
www.opernhaus.ch

参加できるイベントというイベントはスイス中どこを探してもありません。いくらコロナとはいえず一と家にいるのも不健康なので、お散歩、スキーなど自然の中にたまに出掛けるのがいいですね。

ブランド 啓子さん (Zurich在住)

お仕事は？

チューリッヒに住み始め暫くして、これまでの研究(日本近代文学)を続けたいとチューリッヒ大学日本学科の博士課程に入学しました。ところが、なかなか研究テーマが見つからず、結局はずいぶん方向の違う浮世絵研究に落ち着きました。それが古典籍研究への道を拓いてくれました。

3月号より隔月で古典籍をテーマにエーデルワイスにコラムを担当させていただくことになりました。どうかよろしくお願いいたします。

ご出身は？どんな所？

北海道です。中学1年迄は十勝平野の真ん中、十勝の支庁所在地である帯広に隣接する音更(おとふけ)という町で、寒いけれど雪の少ない太平洋側の気候の中で育ちました。ちなみに一年のうち300日が快晴です(年間日照時間は2003時間)。

中・高時代は打って変わって雪の多い日本海側の小樽。帯広一帯での冬の体育はスケートでしたが、小樽ではスキーでした。当時の十勝では校庭にスケートリンクを作るのが慣わしていました。先生や父兄の方達の協力で雪を固めたリンクに水を撒いて作るのです。今はきっと技術的にも更に進んでいる事でしょう。冬の屋外では水を撒いたら瞬時に凍ります。以前テレビで、最も寒い陸別(りくべつ)で外でラーメンを食べ、それがレストランのサンプル(フォークに巻きついたスペゲッティ)の様に凍ってしまったのを紹介していました。平野の帯広とは反対に坂の町小樽では、(私の中学校では)スキーをかついでスキー場まで市内を移

動しましたが、高校は潮見台という坂の上にありましたので市中行進はしなくて済みました。学校の上にはジャンプ台もあり、その練習中の選手が学校と高台の間にある民家の屋根に着地なんてこともあった程度です。食べ物については、日本人なら誰でも情熱的になってしまいますので、ここでは割愛いたします。



スイスに来るまでのお話

初めてスイスに来たのは、イギリスでの語学短期留学中にスカッシュをしていて、アキレス腱を切り、右足に大きなギブスをはめて。語学学校での親友だったおきゃんなスイス人Anitaに誘われてです。松葉杖で、脚全体のギブスが振り子みたいな日本人は珍しかったですね。悲しかったけれど、活動的なAnitaの若者グループに入れてもらい、彼らの肝試し大会のお化け役、白装束で教会の尖塔に潜み、奇声を発して人を怖がらせる役などももらいました。結局ギブスを外すまで四週間も、スイスの皆様に暖かなお世話をいただきました。

日本の大学の研究室では、予定を過ぎても帰国しない私が実はテロリストで、この頃起きた日本赤軍のテルアビブ

乱射事件に関与しているのでは？などの怖い噂もあったそうです。インターネットの無い時代、休学届がなかなか届かなかったのです。この後は生活費の僕約のためスペインに行きスペイン語を学びました。

二度目に来たのは、製本家をめざして。本好きが高じて、日本在住のドイツ人製本家Tini Miuraさんに弟子入りを試みました。インターネットの無い時代です。彼女に『あなたはあそこに行くべきよ』と言われ、あそこってどこかなー？と色々探してついに1年半後、それはイスのアスコーナにある私立の製本学校と知ったのです。Tini Miuraさんのアトリエにお邪魔したとき2歳前だった長女ももう4歳っていました。早速子連れでイタリア語圏アスコーナに来ました。

スイス生活で感心すること

チューリッヒではどんなに大きな催し物があってもその翌朝には、ピッカピカに街が片付いていることです。

スイスに来て気付いた不思議

スイスに限らずヨーロッパでは不動産、つまり家の価値は水(海、湖水、河川など)が見えるか否かに大きく左右されることです。たとえ5センチでも水平線や湖水の切れ端がみえたら、大いぱりで宣伝して良いのです。水害の多い日本では少し違うのではと思いましたがいかがでしょうか？

影響を受けたヒト・コト・モノは？

大学でテーマ探しをしていた頃に色々な学科の授業に参加しましたが、感銘を受けたのは英文科のElisabeth Bronfen教授です。活きいきした映画研究やShakespeare作品研究等。Shakespeareの戯曲の全てはヨーロッパの歴史・文化・宗教と深く繋がっています。皆様ももしお時間が許せば、是非ご一読をおおすすめいたします。きっとヨーロッパ生活の助けとなると思います。

編集後記

1月14日、15日は久々の大雪でしたね。うちの庭にも50cmほど積もったでしょうか、こんなのは初めてです。ずっとオンライン授業だった娘は、その日試験で大学に行かねばならず、「街中はトラム動いてないって!」と早めに出ていき、チューリッヒ市街南側のHegibachplatzから、Irchelの大学まで5kmほどをズボズボと雪道を徒歩で行く羽目に。街ではクロカンスキーで通勤の人もテレビに出ていました。表紙の写真はそれから数日後の晴れ間の除いた午後。粹なもので、人が安全に歩けるように何本かの道を除雪してありましたが、雪のカーペットはそのまま。日の光に飢えたスイス人たちが、椅子に座って思い思いに都会の雪景色を愉しむ光景が印象的でした。(KC)

広告掲載のご案内

ジャパンクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告掲載、フライヤー等の会報同封配達を、有料(一部無料)で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

伝言板コーナーをご利用ください。

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前(会員に限る)を入れた原稿を毎月10日までに編集部までメールにてお送りください。

*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます。

JCZ会報誌エーデルワイス

2021年2月号



発行責任者：青砥 玄(会長)

編集：カンツィアーニ かほり

レイアウト：鎌田 裕子

編集部専用メールアドレス

edelweiss@japanswiss.ch

JCZ Japan Club Zurich

Office of Honorary Consul

General of Japan

Färberstrasse 6, 4F 8008 Zurich

www.japanswiss.ch

jcz@japanswiss.ch